



THE Y'S MEN'S CLUB OF

NARA

奈良ワイズメンズクラブ

CHARTERED SEP. 14th 1950

C/O NARA YMCA, 2 Saidaiji Kunimicho, NARA JAPAN

Phone No. 0742-44-2207 URL: <http://uchidakaikai.com/narawaizu/index.htm>

12月号

国際会長主題：『Go Ye All The World (全ての世界に出て行こう)』 国際会長 Poul V. Thomsen

アジア会長主題：『Start Future Now (未来を始めよう、今すぐに)』 アジア会長 岡野 泰和

西日本区主題：『Attend club meeting with a clear motive to make the most of them

(志を持って例会に参加し、学びの機会をもちましょう。)] 西日本区理事 高瀬 稔彦

阪和部主題：『Youth & Action (若さと行動 今こそ行動するとき)』 阪和部長 飯沼 眞

クラブ会長標語：『Go Back to Y'sdom (ワイズダム原点回帰)』 奈良クラブ会長 高橋 辰夫

12月例会

とき 2013年12月08日(日) 17:00~17:30

ところ 奈良YMCA チャペル

プログラム

司会：中井 信一

1. 奈良クラブの歌
2. 開会点鐘
3. ワイズソング
4. 聖書・祈祷
5. ゲスト・ビジター紹介
6. 誕生日・結婚祝い
7. インフォメーション、アピール
8. YMCAの歌
9. 閉会点鐘
10. 閉会

[月間テーマ]

EMC - M

[今月の聖句]

「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。」

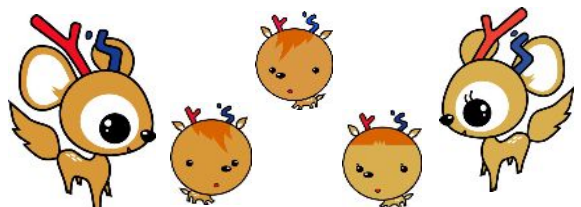
ルカによる福音書2章11節

日本基督教団奈良教会牧師 栗原宏介

大学で授業をしているとコメントを書くことのできる出席票に興味深い質問が毎回寄せられます。私が教授ではなく牧師なので他の授業ではないような質問をするのだと思います。なので私も最初の15~20分を使って授業に対する質問はもちろんのこと、こうした牧師に向けられた質問に答えています。先日はこのような質問(相談の方が近いかも)がありました。「もうすぐクリスマスなのに彼氏がいません...。(どうしましょう?)」皆さんはどう答えますか?「別にクリスマスは恋人と過ごさなければいけない日ではありません。」これは真っ先に思いついた答えです。教員ならこれで正解かもしれません。しかし牧師に向けられた相談の答えとしてはあまりに冷たいのでどう応答しようかまだ考えています。「まだ時間はある!とにかく声をかけよう!」、「焦って冷静さを失わずにちゃんといい人と会いましょう。」、「もし一人だったら教会に行きましょう!」、どれも決め手に欠ける...そしてちょっとずれているなあ...。「もしあなたが今年のクリスマスまでに素敵な恋人に巡り合わなくても、そんなあなたのためにイエス様が生まれたのですよ。」そうでした、イエス様は寂しい思いをしている人のもとにやってくるのです。もしかしたらこの質問をした彼女は今年、クリスマスの本当の意味を知るかもしれません。もちろん良い出会いがあり幸せなクリスマスを迎えてほしいと願いつつ、次の授業までに良い答えをまだまだ思案したいと思いま

2013年11月クラブ統計

在籍会員 24名	出席率	算出分母 23名	出席数 18名
メン 15名	メーキャップ 3名	メネット 8名	功労会員 1名
ゲスト 2名	ビジター 1名	コメント 0名	/ 出席率 78.3%



ニコニコ献金

11月度 13,472円・累計 977,663円

秋は、ワイズメンクラブのにとって最も活動の多い時期です。その上に先日のフィリピンの大災害。奈良YMCAへ協力の国際協力募金の街頭募金が終わってすぐに、まるで油断を突いた様な災害でした。街頭募金が終わ

り、各箇所でも再び街頭募金を募るしか方法がない状態です。日本YMCA同盟主導で全国へ募金を募られます。12月のジョイフルクリスマスの献金を奈良YMCAを通して日本YMCA同盟に送ります。皆様のご協力をお願いします。

この記事を書いているいまその時にテレビでフィリピンの台風の被害について報道されました。死者5,796人行方不明1,100人以上。復興には最低でも3~4年かかると見込まれているそうです。

これからは11月の例会卓話で学んだ第2次支援、第3次支援にと移行していくと思います。

東日本大震災なども含めて、いつ起こるかかわらない災害の支援について、備えを皆さんと考えないといけないと思います。



11月例会報告

開催日 11月11日(月)19:00~21:00
開催場所 PICAPICA

11月例会の卓話は、日本赤十字社 奈良県支部にお勤

めの松本淳子様にお越しいただきました。近年では東日本大震災や奈良県南部・和歌山大水害など国内外に多くの災害が発生し、人々の救済や支援に東奔西走されている活動の経験により、被災地の事情や人々の様子など、現地に行かなければわからない貴重なお話をさせていただきました。また、日本全国から送られてくる支援物資などの実情などお話をいただきました。

1次支援(災害避難)、2次支援(救済・復興支援)を経て、3次支援(心のケア)が必要であると、支援に

ついて考えさせられました。

ずいぶん前から呼びかけられている、東南海沖大地震

やいつ起こるかかわらない災害について普段からの個々

の準備はもとより、地域で考える 災害時の備え。つまり

地域で連携できる日常からのコミュニケーションが大切

とあってお話をいただきました。正にワイズメンクラブの地

前田 未帆

以前、急性リンパ性白血病になった友人のことを書かせてもらいましたが、その後の彼女は無事に寛解(症状が落ち着いて安定した状態)に入り、退院しました。しかし、恐れていた事が起こりました。退院から約半年後に再発、また入院生活を余儀なくされました。今回はお兄さんの末梢血を移植することになり、10月に移植手術を終え、壮絶な移植後の1ヶ月を乗り越えた彼女は、今もGVHD(拒絶反応)と闘いながら治療に励んでいます。

彼女がこの病気になってから、毎日彼女の事を想って祈り、彼女に届いて欲しい思いで可能な限り献血に通い、彼女のブログを毎日見ては生きていてくれていると安堵し、ブログの更新がしばらくないと最悪のことが頭によぎり、彼女がいなくなってしまうかもしれないという恐怖を感じていました。

先日、移植後の面会が許可されたということで、すぐに病院へお見舞いに行きました。彼女は、痩せて歩くこともままならない状態でしたが、とても穏やかで自分の病気を今度こそ受け止めている、そんな印象を受けました。そして、自分の大変な時でも友達のことを想って祈ってくれている、そんな彼女は神々しくも見えました。幸せの真ん中に帰るんだ！って言うてる彼女は、もうすでに私の幸せの真ん中にいてくれています。

彼女が、今度こそこの病気を克服してくれること、そして彼女の思う幸せの真ん中に必ず帰って来てくれ

ワイズメン コラム

私のワイズ人生(その1)

林 秀彦

私の学生時代(昭和30年代)には、何処の大学にもクリスチャンの教授の1人や2人はおられるようでした。

私が入学した時からの友人の1人(後で解ったのですが、北海道の美唄という町にある聖公会の教会の信者でした)がクラブ活動の一つに学生YMCA活動のクラブがあるので、のぞいてみないかと誘われて参加したのが、この道に入るキッカケでした。

その頃は、毎週土曜日、授業が始まる1時間前にクラブ活動の時間で朝遅刻しないように行くのが大変でした。何時も十数名の学生が参加して、活動的なクリスチャンの教授のもとで賛美歌を歌い、聖書を読み、教授が聖書の内容や背景を話して下さり、知らないことばかりで楽しくクラブ活動の時間をすごしていました。

このクラブ活動は学校内だけではなく、関西いっせんの大学が加盟する、関西学生YMCA連盟?なる組織があり、我が大学もその組織に加わっていましたので、2~3ヶ月毎に各大学の持ち回りで会合があり、そこにもよく参加させていただいておりました。その会もYMCAから、当時100\$のえくぼの持ち主と言われておられました藤森主事が学生YMCA担当で、私達の活動を見守りご指導を頂き、この会も楽しく過ごした事を思い出します。

Y'sの効用？

林 佑幸

私がY'sに入会して今年20年目の活動期に当たります。入会のきっかけは義兄と姉から幾度となく強い勧めがあり、また二人からは何かと世話になっていた関係上断りにくく義理立てのつもりで一度だけ顔出ししたら良いだろうとの軽い考えで奈良クラブを訪ねたのは1994年7月例会でありました。第一印象は、皆で歌い、お祈りをして食事を摂る、「おかしな集まりだなァ～」と感じたのを覚えております。しかし、会が進む内に周りの方々から「来月は一杯飲み会だから是非来て下さい」と誘われ、もともと飲み会の大好きな私は「はい、寄せていただきます」と快諾。そして、8月納涼例会に顔を出すとそこには、紹介者の姉夫婦や、義兄と親しい他クラブの面々が来ておられ、それらの方々からも入会を勧められ引くに引けなくなってしまうというのが本音であります。しかし、私に入会を決心させたポイントはオリエンテーションの中で、ワイズメンズクラブが「夫婦二人で参加し、活動出来る」という点でした。当時の私は仕事後の付き合いが忙しく、家に帰るのは最終電車かその後という日が続いており家のことは妻任せ、夫婦二人の共通話題や友人もなく、会話も少ない状態でありましたので、月に一度でも二人でデートができ、共通の話題や友人が共有できるということが入会の決め手の大きな要素でありました。そして1994年10月例会で入会式となり今日まで来たのですが、この間にクラブ内活動をはじめとしDBC、IBCや区大会、世界大会への参加を通じての共通話題、友人を得ることができたのは間違いのないことで、今では私達が日常生活を送る上で深く関わっているとと言えます。曰く「子は鎧」ならぬ「Y'sは夫婦の融和剤」的存在で私達二人にとっては「Y'sの効用」の一つであると言えます。

ワイズメン コラム

岩本 章

私たちワイズメン、メネットが、YMCAリーダーの皆さん達と一番身近な接点にあるのが、ジョイフルクリスマス、昨年からのチャリティーラン、国際協力募金と言ったものがあげられます。奈良クラブはおかげさまで、こうした行事を通して若いリーダー達と親密な関係が生まれ、発展してきていると思われるこのごろです。特にジョイフルクリスマスは回をかさねつつ、皆が楽しみにしている最も楽しいイベントの一つです。Y's特性の「おでん」をはじめ、沢山の御馳走、恒例となった「劇」も台本の作成から配役選び、小道具、大道具の準備、どれをとっても手間のかかる仕事ですが、それらを若者達と、築きあげて行くプロセスがまた面白いところであります。こうして仲良しになったYMCAリーダーが旅立つ卒Yも淋しい反面、いつの時か、またYMCAの維持会員になり、ワイズメンとして帰ってきてくれる事を願わずにはいられません。親と子、それ以上に離れた歳であつてこそ、若者からエネルギーをもらって元気にワイズライフを楽しみたいものです。ずーっと「今、心は少年、少女」でいましょう。

YMCAサービス・ユース

12月08日(日)ワイズYMCA共催 ジョイフルクリスマス

交流

- ・DBC交流 御殿場クラブ、名古屋東海クラブ
- ・IBC交流 韓国慶州花郎クラブ、台湾台南クラブ

ファンド

- ・BF切手蒐集 一人1,400円分の切手
- ・じゃがいもファンドの購入 ・ファンドの啓蒙活動

EMC

- ・会員増強の為の広報活動 ブリテンコラム記事掲載

地域奉仕

- ・CS,TOF,FF,RBM,東日本震災、フィリピン災害支援献金

メネット事業

- ・11月22日(金)養護老人ホームへ行って来ました
午前中はファンド事業の切手の整理をし午後から喫茶のボランティアを行いました
- ・12月5日(木)阪和部メネットの集いに参加しました
堺市役所ロビーに奈良YMCA障害者絵画教室の作品30点も他の障害者の作品と共に展示されました。
- ・12月6日(金)ならYMCA音楽療法クラス(ピッコロ)とジョイフルクリスマスのクッキー作りをしました

12月8日(日)奈良YMCA音楽療法クラス(ピッコロ)の生誕劇とクリスマス会のお手伝いとジョイフルクリスマスのお手伝いと忙しい一日になりますがよろしく願い致します。

日時： 2013年11月25日19:00～21:00

場所： YMCAチャペル

議題

1. 12月例会について

日時： 2013年12月8日 17:00～17:30

場所： 奈良YMCA チャペル

2. 12月役員会 12月16日(月)YMCAチャペル19:00～

3. 阪和部新年合同例会 について

阪和部各クラブ及び大阪クラブ周年記念でアピール

3. 2月例会 2月10日(月) PICAPICA 19:00～21:0

卓話 「笑って大往生するために」(仮題)

講師 日本尊厳死協会関西支部 竹内 賜正 様

司会: かせ谷メン

4. ジョイフルクリスマスについて

12月8日(日) 奈良YMCA体育館 18:00～

献金はフィリピン台風災害支援の為、奈良YMCAを通じて日本YMCA同盟へ

5. 各種ファンド事業の締切について

6. プリテンコラム記事のお願い

7. 次次期国際会長および国際議員総選挙について

Happy Birthday

5日 林 成子、9日 平井 洋三、22日 黒田 幸司

23日 平井 尚子

Wedding Anniversary

3日 林 秀彦・成子、6日 林 佑幸・夏代

YMCAだより

日増しに寒さ一層厳しくなりました。12月はYMCAにとりまして“クリスマス”そうイエス様のご降誕をお祝いする大切な時でもあります。その神聖な日をワイズの皆様そしてYMCAを支えてくださる多く皆様への感謝の気持ちそして、新たな年が皆様にとって多くの幸がありますことお祈りいたします。

第2回奈良YMCAチャリティーランご報告

11月3日(日・祝)生駒山麓公園多目的広場にて開催されました『第2回奈良YMCAチャリティーラン2013』の開催主旨にご賛同いただきました多くの企業、団体、個人の皆様よりいただきました『1,158,779円』(2013.12.8現在)の用途に関しては以下のようにさせていただきます。*金額など詳細は最終委員会(1月20日)までにお知らせさせていただきます。

収益金用途

- ・奈良YMCA障がい児支援プログラム活動
- ・奈良市 心のふるさと応援寄附『障がい児支援事業』
- ・生駒市 ふるさと生駒応援寄附『子育て・教育施策(障がい児支援)』
- ・日本YMCA同盟を通じて、チャリティーランを実施していない地域の支援

2014年度『第3回奈良YMCAチャリティーラン2014』は世界遺産古都奈良の象徴でもある“平城宮跡”にて開催できるよう準備を進めております。ワイズの皆様どうか変わらぬご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

12月の行事予定

日/曜日	行事内容
3 火	大阪サウスクラブ 例会
4 水	大阪長野クラブ 例会
5 木	阪和部メネットの集い
5 木	大阪河内クラブ クリスマス例会
7 土	和歌山紀の川クラブ クリスマス例会
8 日	奈良クラブ例会 ジョイフルクリスマス
12 木	大阪堺クラブ 例会
19 木	和歌山クラブ 例会
26 木	大阪泉北クラブ 例会

次月例会予告

とき 2013年1月11日(土) 13:00～16:00

ところ たかつガーデン

内容 阪和部新年合同例会

(奈良クラブ 新年例会)